

2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年2月14日  
東

上場会社名 G-FACTORY株式会社 上場取引所  
 コード番号 3474 URL https://g-fac.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片平 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 田口 由香子 (TEL) 03-5325-6868  
 定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績 (2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	6,348	13.4	△20	—	17	—	△332	—
2023年12月期	5,598	18.2	△39	—	△64	—	△194	—

(注) 包括利益 2024年12月期 △304百万円(—%) 2023年12月期 △135百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	△51.24	—	△21.8	0.4	△0.3
2023年12月期	△29.97	—	△10.9	△1.4	△0.7

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 ー百万円 2023年12月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	4,365	1,463	31.5	211.00
2023年12月期	4,557	1,727	36.7	258.44

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,374百万円 2023年12月期 1,674百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	248	△160	△180	1,453
2023年12月期	96	△504	△234	1,502

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,560	3.3	34	—	32	86.2	△58	—	△9.00

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 一社(社名)一、除外 1社(社名)株式会社M. I. T

(注)当社を吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社であった株式会社M. I. Tを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期	6,816,500株	2023年12月期	6,780,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期	300,000株	2023年12月期	300,000株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	6,496,340株	2023年12月期	6,479,687株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	5,444	32.7	256	2.4	322	20.5	△269	—
2023年12月期	4,103	17.7	250	10.9	267	4.1	163	△40.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期	△41.52		—					
2023年12月期	25.31		25.19					

(注)2024年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	4,936	2,132	41.8	316.32
2023年12月期	5,056	2,362	46.0	358.80

(参考) 自己資本 2024年12月期 2,061百万円 2023年12月期 2,325百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、人手不足や物価高を背景に、雇用や所得環境が改善したことに加え、インバウンド需要の拡大により緩やかな回復基調が続きました。一方で、世界的な金融引締め、急速な円安の進行や物価上昇等により実質賃金が減少し個人消費が低迷するなど、景気下振れのリスクは大きく、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、人流の回復に加え、インバウンド需要の拡大含め、外食需要は総じて堅調に推移いたしました。一方で、人手不足の常態化とともに、人件費やエネルギー価格の上昇、継続する原材料価格の高騰など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

そのような状況下、当社グループは、国内の飲食店をはじめとするサービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、日本国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となれるよう努めてまいりました。また、経営サポート事業と飲食事業の連動によって、当社独自の「プラットフォーム」を形成し、両事業を併せ持つことによるシナジー効果で収益を創出するビジネスモデルを確立し、各事業で収益が発生する「名代 宇奈とと」のライセンス展開や、飲食事業で培ったノウハウや課題解決力を活かし、時代と共に変化する飲食店経営のニーズに対応した新サービスの提供を推進してまいりました。さらに、中期展望の実現に向けて、国内及び海外の管理体制強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第連結会計年度の売上高は6,348,793千円（前連結会計年度比13.4%増）、営業損失は20,801千円（前連結会計年度は営業損失39,053千円）、経常利益は17,182千円（前連結会計年度は経常損失64,819）、親会社株主に帰属する当期純損失は332,890千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失194,169千円）となりました。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

#### ① 経営サポート事業

当連結会計年度においては、退店希望顧客や空き物件の情報の入手と出店希望顧客のサポートが進み、契約数を伸ばすことができました。また、外国人材紹介サポートが新たな収益源として売上高の増加に寄与いたしました。一方で、外国人材紹介サポートにおける対象範囲の拡充のため、ミャンマーやインドネシアを中心とした営業人員の増強により人件費が増加しております。

その結果、当セグメントの売上高は2,896,121千円（前連結会計年度比8.6%増）、営業利益は452,539千円（前連結会計年度比5.2%増）となりました。

#### ② 飲食事業

当連結会計年度において、当社グループが展開する「名代 宇奈とと」においては、インバウンド需要の高まりから、上野、浅草などのインバウンド店舗において売上高の増加が際立ちました。また、国内及び海外の新店舗の通年寄与により、売上高が増加いたしました。一方で、主に不採算店舗の固定費負担により、利益を圧迫しました。

その結果、当セグメントの売上高は、3,452,672千円（前連結会計年度比17.8%増）、営業利益は94,861千円（前連結会計年度比326.9%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産の部

当連結会計年度末の資産は前連結会計年度末より192,154千円減少して4,365,339千円となりました。これは主に、売掛金が77,018千円、差入保証金が51,381千円、繰延税金資産が145,272千円増加した一方で、現金及び預金が50,348千円、建物及び構築物が294,954千円、有形固定資産その他が121,570千円減少したことによるものであります。

#### ② 負債の部

当連結会計年度末の負債は前連結会計年度末より72,039千円増加して2,901,560千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金38,910千円、長期借入金148,219千円減少した一方で、買掛金が23,134千

円、流動負債その他が170,064千円、長期預り保証金が70,871千円増加したことによるものであります。

### ③ 純資産の部

当連結会計年度末の純資産は前連結会計年度末より264,193千円減少して1,463,778千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が27,184千円、新株予約権が34,195千円増加した一方で、利益剰余金が332,890千円減少したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ48,939千円減少し、1,453,155千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、248,337千円（前連結会計年度は96,639千円の収入）となりました。この内訳は主に、税金等調整前当期純損失412,292千円、減価償却費228,021千円、減損損失418,538千円、のれん償却額13,520千円、為替差益38,434千円、売上債権の増加額76,027千円、その他の流動負債の増加額139,762千円、長期前受収益の減少額70,379千円、法人税等の支払額46,388千円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、160,979千円（前連結会計年度は504,563千円の支出）となりました。この内訳は主に、有形固定資産の取得による支出178,039千円、差入保証金の差入による支出142,688千円、経営サポート事業における長期預り保証金の返還による支出50,559千円、長期預り保証金の受入による収入181,409千円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、180,927千円（前連結会計年度は234,288千円の支出）となりました。この内訳は主に、長期借入金の返済による支出187,129千円であります。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
自己資本比率(%)	30.4	32.8	38.5	36.7	31.5
時価ベースの自己資本比率(%)	63.4	55.4	56.0	48.3	101.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	627.3	285.5	269.7	1,164.0	377.60
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	36.0	65.7	65.8	14.3	35.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

飲食店を中心としたサービス業を取り巻く環境は、人流の回復に加え、インバウンド需要の拡大含め、外食需要は総じて堅調に推移する一方で、人手不足の常態化とともに、人件費やエネルギー価格の上昇、継続する原材料価格の高騰など、引き続き厳しい経営環境が続くことが想定されます。

当社グループでは、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、日本国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となれるよう努めてまいります。また、経営サポート事業と飲食事業の連動によって、当社独自の「プラットフォーム」を形成し、両事業を併せ持つことによるシナジー効果で収益を創出するビジネスモデルを確立してまいります。

経営サポート事業においては、国内需要の物件情報サポートを中心として、飲食企業を支援することによる国内事業の営業体制基盤の充実と拡大を図ってまいります。また、外国人材紹介サポートを当社グループの第三の事業の柱とするべく、積極的な人材投資と事業基盤の強化を進め、持続的な成長と収益拡大に取り組んでまいります。

飲食事業においては、国内及び海外における「名代 宇奈とと」及びレストラン業態の収益力向上を図るとともに、飲食店の運営ノウハウの蓄積、ネットワークの拡大をすることで、経営サポート事業の各種サポートの体制強化と品質向上を図ってまいります。また、不採算店舗に加え、成長が鈍化している店舗について、ブランド転換や売却を検討してまいります。

上記より、2025年12月期の連結業績予想につきましては、売上高6,560百万円、営業利益34百万円、経常利益32百万円、親会社株主に帰属する当期純損失58百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面においては日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後のIFRS（国際財務報告基準）の採用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適正に対応していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,504,837	1,454,488
売掛金	129,543	206,562
リース投資資産	69,681	39,836
商品	58,817	73,059
前払費用	237,595	254,836
その他	42,271	53,253
貸倒引当金	△202	△115
流動資産合計	2,042,545	2,081,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	955,772	660,817
建設仮勘定	6,771	1,500
その他（純額）	168,927	47,357
有形固定資産合計	1,131,471	709,675
無形固定資産		
のれん	13,520	—
その他	3,500	18,940
無形固定資産合計	17,020	18,940
投資その他の資産		
投資有価証券	4,489	5,438
繰延税金資産	110,251	255,524
差入保証金	1,167,835	1,219,217
その他	87,019	76,589
貸倒引当金	△3,140	△1,967
投資その他の資産合計	1,366,456	1,554,802
固定資産合計	2,514,948	2,283,417
資産合計	4,557,493	4,365,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	144,920	168,055
1年内返済予定の長期借入金	195,882	156,972
未払法人税等	3,575	22,664
その他	589,989	760,054
流動負債合計	934,367	1,107,745
固定負債		
長期借入金	928,960	780,741
繰延税金負債	4,914	5,869
長期預り保証金	834,089	904,961
長期前受収益	124,550	98,430
その他	2,640	3,813
固定負債合計	1,895,154	1,793,815
負債合計	2,829,521	2,901,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,357	53,460
資本剰余金	630,180	633,283
利益剰余金	1,105,097	772,206
自己株式	△243,933	△243,933
株主資本合計	1,541,702	1,215,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	894	629
為替換算調整勘定	132,119	159,304
その他の包括利益累計額合計	133,013	159,934
新株予約権	37,362	71,557
非支配株主持分	15,893	17,269
純資産合計	1,727,972	1,463,778
負債純資産合計	4,557,493	4,365,339

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,598,235	6,348,793
売上原価	2,966,704	3,288,578
売上総利益	2,631,531	3,060,215
販売費及び一般管理費	2,670,584	3,081,017
営業損失(△)	△39,053	△20,801
営業外収益		
受取利息	725	412
受取配当金	136	192
為替差益	—	37,652
協賛金収入	3,624	—
その他	2,167	7,273
営業外収益合計	6,654	45,531
営業外費用		
支払利息	6,785	7,146
為替差損	25,259	—
その他	375	400
営業外費用合計	32,419	7,547
経常利益又は経常損失(△)	△64,819	17,182
特別利益		
固定資産売却益	—	507
違約金収入	19,277	1,088
受取和解金	5,392	10,843
特別利益合計	24,670	12,440
特別損失		
固定資産除却損	23,062	1,352
減損損失	17,942	418,538
和解金	1,668	8,166
その他	—	13,857
特別損失合計	42,673	441,914
税金等調整前当期純損失(△)	△82,823	△412,292
法人税、住民税及び事業税	87,941	65,314
法人税等調整額	20,573	△144,493
法人税等合計	108,515	△79,179
当期純損失(△)	△191,338	△333,113
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	2,831	△222
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△194,169	△332,890

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純損失 (△)	△191,338	△333,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	654	△264
為替換算調整勘定	55,281	28,784
その他の包括利益合計	55,935	28,519
包括利益	△135,402	△304,593
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△139,105	△305,970
非支配株主に係る包括利益	3,702	1,376

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,234	630,057	1,364,057	△243,933	1,800,416
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	123	123			246
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△194,169		△194,169
剰余金の配当			△64,790		△64,790
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	123	123	△258,959	—	△258,713
当期末残高	50,357	630,180	1,105,097	△243,933	1,541,702

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	239	77,709	77,949	12,687	12,190	1,903,243
当期変動額						
新株の発行（新株予約権の行使）						246
親会社株主に帰属する当期純損失（△）						△194,169
剰余金の配当						△64,790
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	654	54,409	55,064	24,675	3,702	83,442
当期変動額合計	654	54,409	55,064	24,675	3,702	△175,271
当期末残高	894	132,119	133,013	37,362	15,893	1,727,972

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,357	630,180	1,105,097	△243,933	1,541,702
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	3,102	3,102			6,205
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△332,890		△332,890
剰余金の配当					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	3,102	3,102	△332,890	—	△326,685
当期末残高	53,460	633,283	772,206	△243,933	1,215,016

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	894	132,119	133,013	37,362	15,893	1,727,972
当期変動額						
新株の発行（新株予約権の行使）						6,205
親会社株主に帰属する当期純損失（△）						△332,890
剰余金の配当						—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△264	27,184	26,920	34,195	1,376	62,491
当期変動額合計	△264	27,184	26,920	34,195	1,376	△264,193
当期末残高	629	159,304	159,934	71,557	17,269	1,463,778

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△82,823	△412,292
減価償却費	180,818	228,021
減損損失	17,942	418,538
のれん償却額	54,080	13,520
長期前払費用償却額	29,755	32,976
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,834	△86
受取利息及び受取配当金	△861	△605
支払利息	6,785	7,146
為替差損益 (△は益)	12,064	△38,434
固定資産売却損益 (△は益)	—	△507
固定資産除却損	23,062	1,352
売上債権の増減額 (△は増加)	△36,230	△76,027
割賦売掛金の増減額 (△は増加)	1,127	—
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,634	△16,405
リース投資資産の増減額 (△は増加)	25,038	29,845
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	36,021	△29,211
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△16,128	△7,272
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24,236	21,197
未払金の増減額 (△は減少)	63,240	5,697
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	70,277	139,762
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	△1,130	△1,355
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△74,683	△70,379
その他	16,549	47,798
小計	278,200	293,280
利息及び配当金の受取額	752	604
利息の支払額	△6,771	△7,055
法人税等の支払額	△175,541	△46,388
法人税等の還付額	—	7,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,639	248,337
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	1,593
有形固定資産の取得による支出	△494,365	△178,039
有形固定資産の売却による収入	—	601
無形固定資産の取得による支出	—	△19,548
投資有価証券の取得による支出	△1,286	△1,353
差入保証金の差入による支出	△154,265	△142,688
差入保証金の回収による収入	17,909	39,311
長期預り保証金の返還による支出	△57,545	△50,559
長期預り保証金の受入による収入	184,990	181,409
その他	—	8,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△504,563	△160,979

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△267,706	△187,129
長期未払金の返済による支出	△1,746	—
リース債務の返済による支出	△345	—
ストックオプションの行使による収入	246	6,205
配当金の支払額	△64,737	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234,288	△180,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,488	44,630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△622,724	△48,939
現金及び現金同等物の期首残高	2,124,818	1,502,094
現金及び現金同等物の期末残高	1,502,094	1,453,155

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

##### (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社においては、飲食店支援を目的とした経営サポート事業と、飲食店の運営を行っている飲食事業を展開しております。

従って、当社グループはその事業別に「経営サポート事業」及び「飲食事業」を2つの報告セグメントとしております。

##### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「経営サポート事業」は、物件情報サポート、内装設備サポート、まるごとサポート及びその他サポートによって飲食店のサポートを行っております。

「飲食事業」は、店舗における飲食業を行っております。

#### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,667,266	2,930,969	5,598,235	—	5,598,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,667,266	2,930,969	5,598,235	—	5,598,235
セグメント利益又は損失 (△)	430,272	22,222	452,495	△491,548	△39,053
セグメント資産	1,690,114	1,272,939	2,963,053	1,594,440	4,557,493
その他の項目					
減価償却費	62,723	112,865	175,588	5,229	180,818
のれんの償却額	—	54,080	54,080	—	54,080
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,254	440,168	451,422	2,286	453,709

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△491,548千円は、各報告セグメントに配分していない  
  全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であり  
  ます。
  - (2) セグメント資産の調整額1,594,440千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る  
  ものであります。
  - (3) 減価償却費の調整額5,229千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るもので  
  あります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,286千円は、各報告セグメントに配分してい  
  ない全社資産に係るものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,896,121	3,452,672	6,348,793	—	6,348,793
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,896,121	3,452,672	6,348,793	—	6,348,793
セグメント利益又は損失 (△)	452,539	94,861	547,400	△568,202	△20,801
セグメント資産	1,997,994	627,237	2,625,232	1,740,106	4,365,339
その他の項目					
減価償却費	45,076	174,608	219,684	8,336	228,021
のれんの償却額	—	13,520	13,520	—	13,520
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	45,350	142,792	188,143	18,219	206,363

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△568,202千円は、各報告セグメントに配分していない  
  全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であり  
  ます。
  - (2) セグメント資産の調整額1,740,106千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る  
  ものであります。
  - (3) 減価償却費の調整額8,336千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るもので  
  あります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額18,219千円は、各報告セグメントに配分してい  
  ない全社資産に係るものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	物件情報 サポート	内装設備 サポート	まるごと サポート	その他 サポート	飲食事業	合計
外部顧客への売上高	2,079,455	72,929	304,546	210,335	2,930,969	5,598,235

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	タイ	シンガポール	ベトナム	合計
5,028,728	86,693	202,174	280,639	5,598,235

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国別に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	タイ	シンガポール	ベトナム	合計
867,867	4,785	122,512	136,306	1,131,471

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	物件情報 サポート	内装設備 サポート	まるごと サポート	その他 サポート	飲食事業	合計
外部顧客への売上高	2,328,098	47,895	247,708	272,419	3,452,672	6,348,793

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	タイ	シンガポール	ベトナム	合計
5,678,850	18,654	317,887	333,400	6,348,793

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国別に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	タイ	シンガポール	ベトナム	合計
417,019	—	189,428	103,226	709,675

### 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

#### 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	経営サポート事業	飲食事業	計		
減損損失	—	17,942	17,942	—	17,942

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	経営サポート事業	飲食事業	計		
減損損失	30,797	387,740	418,538	—	418,538

#### 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	経営サポート事業	飲食事業	計		
当期償却額	—	54,080	54,080	—	54,080
当期末残高	—	13,520	13,520	—	13,520

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	経営サポート事業	飲食事業	計		
当期償却額	—	13,520	13,520	—	13,520
当期末残高	—	—	—	—	—

#### 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	258.44円	211.00円
1株当たり当期純損失(△)	△29.97円	△51.24円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	△194,169	△332,890
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	△194,169	△332,890
普通株式の期中平均株式数(株)	6,479,687	6,496,340
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。